

指定管理者評価結果について

1 評価対象

施設種別	施設数	指定管理者数	評価種別内訳		
			所見評価	5段階評価	
				中間評価	総括評価
① 文化・コンベンション	2	2	0	2	
② レクリエーション・スポーツ	13	8	3	4	
③ 社会福祉	4	4	4	0	
④ 農林業振興	3	2	2	0	
⑤ 港湾・公営住宅	3	3	0	3	
計	25	19	9	9	

2 評価の方法

- ① 所管課評価(施設所管課が評価を実施し、指定管理者評価部会に提出) … 7/17~8/5
- ② 第三者評価(指定管理者評価部会が所管課評価を検証) … 8/22,23,29
- ③ 評価結果を行財政改革推進委員会に報告、承認 … 10/22

指定管理者評価部会

位置付け: 行財政改革推進委員会の部会としてH23年度から新たに設置

所掌事務: 所管課評価について第三者的立場から検証

※ 施設所管課へのヒアリング、現地調査等を実施

委員数: 6名〔行財政改革推進委員会の委員、学識経験者等から知事が委嘱〕

担当施設	委員		
	氏名	役職等	備考
① 文化・コンベンション ② レクリエーション・スポーツ	コテガワ ヤスマサ 古手川 保正	古手川産業(株) 代表取締役社長	部会長、行財政改革推進委員会委員
	イワサキ ミキ 岩崎 美紀	中小企業診断士	
	タケダ タカユキ 竹田 隆行	日本文理大学経営経済学部 准教授(スポーツ経営学)	
③ 社会福祉 ④ 農林業振興 ⑤ 港湾・公営住宅	モトヤ 本谷 るり	大分大学経済学部 准教授(経営学)	部会長、行財政改革推進委員会委員
	キヨナリ シンイチ 清成 真一	中小企業診断士	
	タカハシ トシユ 高橋 とし子	社会福祉法人 安岐の郷 特別養護老人ホーム 鈴鳴荘 総合施設長	

3 評価の種類

種類	概要	時期
5段階評価	採点を行い、A~Eの5段階で評価する。	総括評価 : 指定期間の最終年度(5年度目)
		中間評価 : 2年度目
所見評価	所見を記した文章により評価する。	それ以外の年度

4 評点結果の取扱い

(1)総括評価において「A」・「B」ランクの評価を受けた指定管理者に対しては、次期の指定管理候補者選定委員会における各選定委員の採点に得点加算を行う。
※「A」ランク・・・10点加算、「B」ランク・・・5点加算

(2)総括評価において「E」ランクの評価を受けた指定管理者については、改善状況を県において評価・検討し、その結果、次回選定しないこともあり得る。

5 評価結果の概要

(1)5段階評価【14施設、10団体】

ア Bランク【6施設、4団体】

		施設名	指定管理者	得点
①	1	大分県立総合文化センター	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	85
	2	大分県立別府コンベンションセンター	ビーコンプラザ共同事業体	85
②	3	大分県青少年の森	県民の森管理共同事業体	82
	4	大分県平成森林公園		
	5	大分県神角寺展望の丘		
⑤	6	県営住宅等	大分県住宅供給公社	82

A・・・90～100点(特に優れている)
B・・・80～ 89点(優れている)
C・・・60～ 79点(適正である)
D・・・40～ 59点(努力が必要である)
E・・・ 0～ 39点(かなりの努力が必要である)

イ Cランク【8施設、6団体】

		施設名	指定管理者	得点
⑤	1	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	(株)おおいた観光サービス	77
	2	大分港大在コンテナターミナル	(株)大分国際貿易センター	74
②	3	大分スポーツ公園	(株)大宣	70
	4	高尾山自然公園		
	5	大分県マリンカルチャーセンター	(株)プランニング大分・おおいたインフォメーションハウス(株)共同事業体	64
	6	大分県立庄内屋内競技場	由布市	63
	7	大分県長者原オートキャンプ場	(株)おおいた観光サービス	63
	8	大分県長者原園地		

(2)所見評価【11施設、9団体】

② レクリエーション・スポーツ【4施設、3団体】 → 更なる利用者の拡大が求められる

	施設名	指定管理者	所見のポイント
1	大洲総合運動公園	大分県公園協会・ファビルス共同事業体	利用状況良好だが、臨海地という事を踏まえた有事への備え
2	大分県立総合体育館		
3	ハーモニーパーク	(株)サンリオエンターテイメント	県管理部分(第3駐車場、公園、実証展示林)の利用促進のためのイベントや案内表示の充実
4	大分県リバーパーク犬飼	豊後大野市	豊後大野市の政策(ジオパーク・スポーツツーリズム)との連携による利用促進

③ 社会福祉【4施設、4団体】 → 受け身ではなく、積極的に施設の有効利用に資する取組の充実が求められる

1	大分県聴覚障害者センター	(社福)大分県聴覚障害者協会	次世代を担う若年手話通訳者増加への積極的対応
2	大分県身体障害者センター	(社福)大分県社会福祉協議会	利用者意見への対応の表示等による利用者の目を意識したサービス向上
3	大分県社会福祉介護研修センター	(社福)大分県社会福祉協議会	評価部会の意見を取り入れて良いが、利用者ニーズに沿った研修の充実
4	大分県母子福祉センター	(一財)大分県母子寡婦福祉連合会	同様な取組を行う「こども・女性相談支援センター」との連携

④ 農林業振興【3施設、3団体】 → 設置目的である新しい農業・農村づくりに資する取組の充実が求められる

1	大分県農業文化公園	(公社)大分県農業農村振興公社	飲食施設の充実や農村女性ネットワーク形成拠点化
2	大分県都市農村交流研修館		
3	林業研修所	(公財)森林ネットおおいた	講師の質の充実や利用者ニーズに合わせた研修の実施

平成25年度 指定管理者の管理運営に対する指定管理者評価部会の評価結果

1 5段階評価

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価種別 (対象年度)	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
					目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成・地域等連携	平等利用、安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見												
①文化・コンベンション	大分県立総合文化センター	企画振興部	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	総括評価(H21~24)	20/20	16/20	20/20	8/10	9/15	12/15	85	B
	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高水準の目標指標であるホール利用率を2年目以降毎年達成している。 ○ 経費削減努力も見られ、収支状況は良好である。 ○ 利用者のニーズに柔軟に応える姿勢が随所に見られ、高い満足度を獲得し、また、舞台専門技術者育成やホスピタリティー教育等を行うなど人材育成に関する努力も行い、本県の文化振興の中核的施設として機能している。 ○ 以上により、優れている(Bランク)と高く評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街や大分市等の公立芸術文化施設との連携によるアートイベントを開催するなど、にぎわいづくりのノウハウも蓄積されているので、今後は県立美術館との一体的管理のメリットをどのように「見える化」するかという点を念頭に置き、両施設を中心とする芸術文化ゾーンや駅北側のにぎわいづくりの中心として期待したい。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大分県芸術文化ゾーン創造委員会の最終答申(平成25年2月9日)に沿って、県立総合文化センターと県立美術館の一体的管理運営に向け、平成25年4月の公益財団法人移行と同時に、(公財)大分県立芸術文化スポーツ振興財団の体制を強化し、25年10月から両施設の一体的管理運営の指定管理を開始したところである。 ○ 今後は、評価部会意見及び最終答申を踏まえ、県の芸術文化の拠点として、「出会いと融合」をベースとした大分ならではの芸術文化の創造・発信、さらには、教育等の様々な分野との連携により、文化を活用して、社会的、経済的課題に対応していく。それに加え、両施設の一体的管理運営による効果の「見える化」にも努めていきたい。 											
	大分県立別府コンベンションセンター		ビーコンプラザ共同事業体((株)コンベンションリンケージ、(株)大分合同新聞文化センター、(株)テイクファイブ、(株)メンテナンス)	総括評価(H21~24)	12/20	16/20	20/20	10/10	15/15	12/15	85	B
<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標指標である施設稼働率は、未達成の年度もあるが利用者数とともに着実に増加しながら概ね達成し、地方のコンベンション施設としては健闘している。 ○ 効率的に収入増・経費削減に関する努力を行い、指定管理者からの当初の提案に基づき県と市の委託料を段階的に削減する中で黒字を維持するなど、収支状況は安定している。 ○ 年間利用者数45万人の県内屈指の大規模施設において、利用者満足度も高く適正なサービスが維持されている。 ○ 以上により、優れている(Bランク)と高く評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産学も交え、地域と密着した自主事業にも積極的に取り組んでおり、地域発展・文化向上の両面に寄与していると評価できる。収支バランスを考慮しながら、今後さらに進めてほしい。 ○ 指定管理者のノウハウを十分に活かし、県・別府市とも協力し、今後の大型MICE誘致に期待したい。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オペレッタ劇場や、天文教室など、ビーコンプラザが拠点となり実施している自主事業は、県民の文化向上に大きく寄与していると言える。今後も引き続き、指定管理者が地域と一体となった自主事業を行っていく。 ○ MICE誘致に関しては、県は、本年1月に民間組織と大分市、別府市等で組織する大分県MICE誘致推進協議会を設立した。また、4月にはツーリズムおおいち内にMICEセンターを設置するとともに、専任職員の配置といった組織体制の強化や新たに開催助成制度を創設するなどMICE誘致に積極的に取り組んでいる。別府市においても、25年度よりMICE誘致のための補助制度を拡充した。指定管理者が、これらの情報、制度を積極的に活用し、大型MICEの誘致、地域経済への波及効果の最大化を図れるよう県、市としても連携していく。 												

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価種別 (対象年度)	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
					目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成・地域等連携	平等利用、安全・危機管理		
					評価結果及び指定管理者評価部会の意見							
②レクリエーション・スポーツ	大分県長者原オートキャンプ場 大分県長者原園地	企画振興部	(株)おおいた観光サービス	総括評価 (H21~24)	8/20	12/20	16/20	6/10	9/15	12/15	63	C
	【評価】 ○アウトドアブームの沈静化、ウオン安円高等による韓国人旅行者の激減など、外的環境の変化によるところもあり、目標指標である利用者数を大幅に下回っている。 ○県からの委託料がないという状況にもかかわらず、指定管理者の関連事業との一体管理によるコストダウンにより、黒字経営を維持している。 ○利用者アンケートのサンプル数は少ないが利用者の評価は高く、その後の対応も含めてサービスは良好といえる。 ○以上により、適正である(Cランク)と評価できる。 【意見】 ○環境の変化に応じて、韓国以外のアジア圏や県内の利用拡大など、既存概念にとらわれない幅広い集客の取組が求められる。											
	大分県県民の森施設 (大分県青少年の森、大分県平成森林公園、大分県神角寺展望の丘)	農林水産部	県民の森管理共同事業体 (公財)森林ネットおおいた、 (社)大分県治山林道協会)	総括評価 (H21~24)	20/20	16/20	12/20	10/10	12/15	12/15	82	B
【評価】 ○積極的に広報を行い、施設利用者数は毎年目標を大幅に越えるとともに、使用料収入も毎年増加している。 ○ラベンダー祭りなどの自主事業は定着しつつあり、アンケートでの参加者評価も高い。 ○以上により、優れている(Bランク)と高く評価できる。 【意見】 ○利用者アンケートは現在、イベント参加者のみを対象に実施されているが、そのほかの自転車やキャンプ場などの利用者に対しても、満足度や更なるニーズを把握するためにアンケートを実施してはどうか。 ○各施設が広範囲に点在しているため、利用者がうまく巡回できるよう経路を示す案内板を敷地内外においてさらに整備するなど、利便性向上にも工夫して取り組んでほしい。												
【対応案】 ○今後はアンケート対象者を自転車・キャンプ場の利用者に広げ、効果的なアンケート調査の手法等の検討も踏まえ、実施する。 ○平成25年度には、新たに「県民の森パンフレットボックス」を各所に設置し、マップなどを常設することで、来園者に対するサービス向上を図ったところであるが、今後の取り組みとしては、簡易的な案内板を必要箇所に設置することで、県民の森利用者のさらなる利便性の向上につなげる。												

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価種別 (対象年度)	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
					目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成・地域等連携	平等利用、安全・危機管理		
					評価結果及び指定管理者評価部会の意見							
②レクリエーションスポーツ	大分県マリンカルチャーセンター	農林水産部	(株)プランニング大分・おおいたインフォメーションハウス(株)共同事業体 ((株)プランニング大分・おおいたインフォメーションハウス(株))	中間評価 (H24)	12/20	16/20	8/20	4/10	12/15	12/15	64	C
	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前指定管理者が指定管理者取消処分を受けた後の初年度において、立て直しに予想以上の労力・経費を費やしたのではないかと推察するが、利用者数は目標を下回っている。 ○ 大幅な赤字となっており、健全な経営とはいえない。 ○ ただし、管理体制の刷新により、安心安全・サービス改善等のイメージ回復への努力が感じられ、利用者数や利用料金は前年を上回るなど改善傾向にある。 ○ 以上により、適正である(Cランク)と評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初年度赤字のしわ寄せが利用者に転嫁されることのないよう、県もしっかりフォローしながら、特に営業推進やコストダウン等計画の見直しも含め、今後具体的な改善を進めてほしい。 ○ 今後、高速道路開通によりさらなる利用者の増加が見込まれるが、施設が通過点にならないよう、地元観光施設との協力体制を構築し、また、マンボウ関連以外のイベントを充実させるなど、県南観光の拠点として、目標指標である利用者数11万人の達成を期待したい。 ○ 利用者アンケート結果は概ね好評だが、少数意見のみに左右されないことにならないよう回収率を高める工夫をしてほしい。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 営業推進については、昨年開始した学校への定期訪問を継続実施するとともに、老人会をはじめ一般向けの宿泊プランの充実及びPRの強化に取り組む。県外では、今春の高速道路開通を追い風に延岡・日向地区を重点に活動を展開する。コストダウンについては、定期的な広告を中止してその時期や対象地域、媒体等を見直す。また、人員配置やシフトの見直しによる人件費の抑制、節電による光熱水費の削減を図る。 ○ 県においては指定管理者の幹部会議への出席等を通して収支の実情把握に努め、そのチェックと指導を強化する。 ○ 昨年配置した学芸員を中心とした企画展を充実強化するとともに、地元との連携による食を活用したイベント作り、及び地元住民を講師とする体験プログラムを増やすなどして、蒲江ファンの発掘とリピーターの確保に取り組む。 ○ 利用者アンケートについては、ホームページからの提出や施設内にアンケートコーナーを別途設けるなど、回収率の向上策を新たに検討する。 											
	大分スポーツ公園 高尾山自然公園	土木建築部	(株)大宣	総括評価 (H21～24)	12/20	16/20	12/20	6/10	12/15	12/15	70	C
<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大分トリニータの観客数減、東日本大震災の影響による大型イベントの自粛などが考慮されるが、目標指標である利用者数の目標達成は、指定期間中21年度のみにとどまり、使用料収入も減少傾向にある。 ○ 経費節減に努め、NPO、地元自治会、ボランティアグループ等ともうまく連携して管理運営業務の効率化が行われ、収支は健全に推移している。 ○ テニススクールや硬式野球初心者教室、そば道場等自主事業が定着し、好評である。 ○ 以上により、適正である(Cランク)と評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 芝の維持管理等の制約条件がある中で、イベント誘致については、やや受け身にならざるを得ない点は理解できるが、利用者数の増加等具体的な成果につながるよう大規模イベント誘致への前向きな取り組みを期待したい。 ○ 安全対策では、マニュアル作成、老朽化による危険な場所にはサイン等で利用者に案内するなどの工夫もみられるが、利用者年間120万人の大規模施設であること、開設10年経過し各種設備(観客席・トイレ)の不具合リスクが高まると予想されることから、今後きめ細かく利用者満足度向上に対応する工夫を期待する。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サッカー日本代表戦や大規模コンサート等の大規模イベントは、地域の元気を創出し、集客力が高く、経済波及効果や情報発信力が高いものであり今後の地域活性化の鍵となる。これまで培ってきた日本サッカー協会や大手広告代理店とのネットワークを生かして営業活動を強化し、また今年度開始した大規模イベント誘致推進事業の補助金も活用しながら大規模イベントの誘致に努める。 ○ 公園利用者の安全確保を図るため、管理運営業務仕様書及び安全管理マニュアルに基づき施設・設備の日常点検・定期点検を確実に行うとともに1日2回の公園内巡回を実施し、危険箇所の早期発見、除去に努める。 ○ 利用者からの意見や要望・苦情が重要な情報源であることから、アンケート調査の実施や目宝箱の常設により利用者視点からの情報を収集して、適切な対応をしていく。 												

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価種別 (対象年度)	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
					目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成・地域等連携	平等利用、安全・危機管理		
②レクリエーション・スポーツ	大分県立庄内屋内競技場	教育庁	由布市	総括評価 (H21~24)	12/20	12/20	12/20	6/10	12/15	9/15	63	C
					【評価】 ○ 目標指標である利用者数については、目標達成が4年間で2度である。 ○ 県からの委託料がない中、利用料金収入は同レベルで推移し、安定した収支であるが、毎年、若干の赤字となっている。 ○ 県内唯一のライフル射撃競技の拠点施設として適正に管理運営され、競技人口の増加、全国トップレベルの高校生選手の育成などに貢献し、また、地域でイベント等でも活用されている。 ○ 以上により、適正である(Cランク)と評価できる。							
					【意見】 ○ 今後は射撃以外の利用者にもアンケートを行う等利用者ニーズを把握し、さらなる利用・サービス向上に努め、総合型地域スポーツの利用率を上げ、利用者数や収入の増加につなげてほしい。 ○ 利用料金設定の検討等、より効果的・効率的な運営を期待したい。							
⑤港湾・公営住宅	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	土木建築部	(株)おおいた観光サービス	総括評価 (H21~24)	16/20	16/20	16/20	8/10	12/15	9/15	77	C
					【評価】 ○ フェリーの発着が1日1便のみでフェリー利用者の集客の伸びが期待できない厳しい状況の下、フリーマーケットや古物市場などの継続的なイベントに加え、さつき展覧会等の新たなイベント等目標指標40回を上回るイベントを開催し集客に努めている。 ○ 利用料金収入は減少傾向にあるものの、支出の削減努力により黒字を維持している。 ○ 以上により、適正である(Cランク)と評価できる。							
					【意見】 ○ フリーマーケットについて、時期によっては大分銀行ドームや別府公園などの他会場に出店者が流れているケースがあるとのことなので、他会場に負けない出店者にとって魅力的なイベントとなるよう、何らかの工夫を期待したい。							
⑤港湾・公営住宅	大分港大在コンテナターミナル	土木建築部	(株)大分国際貿易センター	総括評価 (H21~24)	12/20	16/20	16/20	6/10	12/15	12/15	74	C
					【評価】 ○ 年々増加させる厳しい目標値設定や景気の低迷等の外的要因による影響を受けている状況の下、目標指標であるコンテナ取扱量について、21年度から24年度までの各年度において99.6%~89.9%の達成率となっている。 ○ 365日・24時間フルオープンで、かつ、コンテナクレーンの操作等を業務内容とし、高い安全性が求められる施設において、事故が発生しておらず、適切に管理されている。 ○ 以上により、適正である(Cランク)と評価できる。							
					【意見】 ○ 目標達成に向け、設置者である県や関係団体・企業と協力し、更に利用促進に努めてもらいたい。							
					【対応案】 ○ 引き続き、大分県ポートセールス実行委員会と連携し、船主等の視察受入れを積極的に行い助成制度をPRするなど、さらなる利用促進に努める。							

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価種別 (対象年度)	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
					目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成・地域等連携	平等利用、安全・危機管理		
⑤港湾・公営住宅	県営住宅等	土木建築部	大分県住宅供給公社	総括評価 (H21～24)	評価結果及び指定管理者評価部会の意見						82	B
					16/20	16/20	16/20	10/10	12/15	12/15		
					<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標指標の現年度収納率について、21年度から24年度までの間、目標値99.0%を上回る99.5%前後の全国トップレベルの収納率を毎年度維持し、安定した家賃収入となっている。 ○ 8千戸を超える住宅等を安全に管理できている。 ○ 以上により、優れている(Bランク)と高く評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者や一人親家庭の入居者が増加し、コミュニティの人間関係が希薄化しつつある状況の中で、例えば住宅内の集会所において高齢者が放課後の子どもたちの面倒を見るようにするなど、さまざまな世代の入居者同士が交流しながら暮らせるような、入居満足度が高まる取組にも期待したい。 ○ 大分市以外の地域で入居者アンケートを実施するようにしたのはよいことだが、それらの分析結果から分かったことを新たな取組に活かすサイクルを確立してほしい。また、アンケート回収率の低い地区があるので、回収率の自主目標を定めたり、回収方法を郵送ではなく、後日直接訪問したりするなどの工夫をしてはどうか。 ○ エレベーターのない住宅の高層階の部屋を敬遠する高齢者等が増えていることについて、市営住宅との一体管理の利点を活かして低層階への移動を進めるとともに、手すりを整備するなど、利便性・安全性を向上させることを期待したい。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、入居者間のつながりや交流を促進するために「花いっぱい運動」を実施している。今後も入居者や自治会からの要望等を踏まえ、入居満足度の向上に努める。 ○ アンケートの分析結果を入居者サービスの向上に活用するとともに、一定の回収率の確保に努める。 ○ 県営住宅、市営住宅の一体的管理により、高齢者等の低層階への住替えを促進するとともに、県としても高齢者向け改善工事の計画的な実施等により県営住宅のバリアフリー化を推進していく。 							

2 所見評価

施設種別 (部会)	施設名	担当部局	指定管理者	指定管理者評価部会の意見
②レクリエーション・スポーツ	大洲総合運動公園 大分県立総合体育館	土木建築部 教育庁	大分県公園協会・ファビルス共同事業体 ((財)大分県公園協会、(株)ファビルス)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種教室やイベントなどの自主事業を積極的な広報を行い開催したほか、プロスポーツ等の誘致に努めた結果、目標指標である利用者数は124%と高い達成率となっていること、また、さまざまな経費低減に関する取組を行い、支出を抑えて黒字化していることは評価できる。 ○ プロスポーツ、学校関係、各種スポーツ団体との調整を図るほか、スポーツ専門員の配備やPDCA手法・予防安全の導入などソフト面を充実させ、利用者への迅速対応、事故トラブルの防止に努めていることは評価できる。 ○ 公園の利用者アンケートについては、調査項目や回収数増加の工夫を行い、利用者ニーズの把握や利用者意見の反映につなげてほしい。 ○ 津波などの災害時の誘導等に関する「安全管理マニュアル」は整備されているが、臨海地に位置している施設であるため、有事に備えた地元との連携、避難訓練も必要と思われる。
	ハーモニーパーク	土木建築部	(株)サンリオエンターテイメント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設維持管理は、ハーモニーランドとの一体的管理の中で、目標指標である利用者数を達成し、適正に行われていると評価できる。 ○ イルミネーション事業は定着しているが、県管理部分(第3駐車場、公園、実証展示林)の利用促進や関心を高めることにつなげるイベントや案内表示の充実等にも取り組んで欲しい。 ○ ハーモニーランドとの線引きが難しい中、アンケートの回収には苦慮している様子が窺えるが、県管理部分についての評価が分かるように、県の指導の下、調査項目や回収数を増加させる工夫を期待したい。
	大分県リバーパーク犬飼	土木建築部	豊後大野市	<ul style="list-style-type: none"> ○ カヌー場として九州でも数少ない貴重な施設であり、豊後大野市所有の隣接施設との一体的管理により効果を高め、利用者満足度で4段階中3.6点を獲得するなど、ベテラン職員を中心に適正に運営されていると評価できる。 ○ 多目的グラウンドにおいては、高額な費用負担等芝の維持管理に苦勞している。公園全体の存在価値のあり方と主な利用者の競技レベルに合わせて管理コストを検討する必要がある。 ○ 目標指標である利用者数は未達成であり、豊後大野市のジオパーク・スポーツツーリズム推進と連携して、さらなるスポーツの拠点として、利用が拡大されるよう期待したい。

施設種別 (部会)	施設名	担当部局	指定管理者	指定管理者評価部会の意見
③社会福祉	大分県聴覚障害者センター	福祉保健部	(社福)大分県聴覚障害者協会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 字幕入りビデオ・DVDの制作数は、24作品と前年度16作品から8作品増加していることはある程度評価できるが、施設設置の趣旨、利用者の声、世の中の流れ等を常に意識しながら、県の指導の下、制作内容等を工夫することが求められる。また、貸出状況について、現在集計している延べ人数に加えて、多くの人に広く利用してもらっているかを把握するために、実人数も集計することが望ましい。 ○ 若年者の手話通訳者が減少傾向にあることについて、大学、高校等への普及啓発の推進、通訳者試験に不合格となった講座受講者へのフォローアップを行うなど、待ちの姿勢ではなく積極的に、次世代を担う若年者の通訳者の増加を図ってほしい。 ○ 利用者アンケートについて、5段階評価では一般的傾向として真ん中の「普通」を選択する人が多いことを考慮すると、必ずしもよい結果であるとは言えない。今後は、より正確に満足度を把握するために、4段階評価に変えることや、5段階評価でも「普通」は良い評価にカウントしないことなどを検討してもらいたい。
	大分県身体障害者福祉センター		(社福)大分県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標指標である利用者数をほぼ達成していることは、評価できる。 ○ 利用者意見への対応状況を事業報告書にきちんと記載して具体的な成果が分かるように示すとともに、意見及び対応状況を掲示等で利用者に公表することにより、利用者の目を意識してさらなるサービス向上につなげてもらいたい。 ○ 実質、赤字が続いているため、人件費削減に取り組むのはよいが、それによる職員のモチベーション低下や、サービス水準の低下、事故等が生じないよう留意してもらいたい。
	大分県社会福祉介護研修センター		(社福)大分県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者アンケートの回収方法の工夫や、県内各地域に出向いて開催する地域介護教室を24年度において更に7市町17か所(23年度:4市11か所)に拡大させるなど、評価部会の意見を反映した取組がなされており、高く評価できる。地域介護教室については、今後さらに県からも積極的に市町村へ受入れを働きかけ、拡大してほしい。 ○ 重度の障がい者のために座敷式トイレを設置するなど、可能な限りさまざまな立場の利用者の視点に立ってサービス向上策を講じていること、また、利用者意見及び対応状況について施設内に掲示して広く周知していることは評価できる。 ○ 研修テーマがマンネリ化することのないよう、近年ニーズが増加している男性介護教室など、利用者ニーズに沿ったものを実施してってもらいたい。
	大分県母子福祉センター		(一財)大分県母子寡婦福祉連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和室を一般開放して紙芝居や絵本の読み聞かせ、親子工作教室等のイベントを開催するなど、施設を積極的にPRして利用を拡大しようとする取組は評価できる。 ○ 目標指標である相談件数については達成しているが、父子家庭など相談を必要とする方の掘り起こしに向けて、さらなる努力を期待したい。 ○ 法律的な解決を必要とする相談者への対応について、市が行う一般法律相談等とも連携して充実するよう取り組んでほしい。 ○ 同様に、こどもや女性に関する相談を扱う「大分県こども・女性相談支援センター」と当該施設との連携を進め、相談しやすい環境づくりを進めてほしい。

施設種別 (部会)	施設名	担当部局	指定管理者	指定管理者評価部会の意見
④農林業 振興	大分県農業文化公園 大分県都市農村交流研修館	農林水産部	(公社)大分県農業農村振興公社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広い園内で、トイレの案内表示が見やすくなり、休憩場所が確保されるなど、サービス向上に取り組んでいる点は評価できる。 ○ アンケート結果について、現在の単純集計だけでなく、地域別・目的別・年齢別などでクロス集計による分析を行い、効果的な広報等につなげて来園者数の目標指標の利用者330,000人が達成できるよう努力してもらいたい。農業文化公園の黒字増加のためには、利益率が高い飲食収入を更に伸ばすことが求められるが、そのためには現状で飲食収入が伸びていない原因について、来園者の滞在時間、時間帯等の分析を行い、それを基に対策を立てるといったことを行ってはどうか。 ○ 都会などから就農を希望して県内農村へ移住する人が増えつつある中で、研修館において、特に女性をターゲットとして、地元食材や伝統料理に関する講座などを行い、移住者を含む農村女性のネットワーク形成の拠点として研修館が機能することを期待したい。
	大分県林業研修所		(公財)森林ネットおおいた	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標指標である研修満足度が高い水準で維持されていることは、評価できる。 ○ 前回の指定期間を含め4年度連続で単年度収支が赤字となっているので、指定管理者の経営努力だけでなく、設置者である県としてもよく状況を把握し、指定管理者を指導していく必要がある。 ○ 引き続き、講義の質の充実や利用者のニーズに合った研修を実施して、研修満足度の維持向上に努めてもらいたい。